



令和5年度  
昭島市立昭和中学校

人権教育の取組

# 教育目標

- 1 自ら考え、ともに学び、積極的に行動する生徒
- 2 互いの人権を尊重し、思いやりのある生徒
- 3 心身ともに健康な生徒

教育目標達成の理念  
キーワード

# 『ハートフル』

お互いを尊重し、  
心あたたかに過ごすための  
全校の合言葉です

スクールカラー

## ピンク と 緑

全校生徒の投票で決まりました。

昭和中の合言葉『ハートフル』を  
イメージしたピンクと、自然の多い  
環境や生徒の活発なイメージから  
緑が選ばれました。

# 人権啓発のための掲示物

本校では、生徒の多様性の理解、尊重のためにポスター、標語、学習成果物などを掲示し、人権感覚を磨いています。



# 道徳科の授業

全ての学年で、様々な形態での話し合いの工夫を行っています。ICTを活用し、視覚的に自分と他者との違いを捉えたり、学年を超えた意見交換の場を設定したりして、価値項目について考えを深めています。1組では、ロールプレイングを通して様々な人の立場に立ち、思いやりのある言動の実践練習をしています。

命に  
ついて  
考える  
性教育

中学2年生、3年生、  
1組を対象に命の始まり  
と命の尊さ、自分の身体  
と心の守り方について、  
助産師の方に講演して  
いただき学びました。

自他の生命の尊さや性  
について考えを深めるこ  
とができました。

# ハートフル教室

毎年中学3年生を対象に、「ハートフル教室」を開催しています。

様々な悩みを共有しながら、より良い心のもち方について考えました。

# 各教科・生徒会の取組

各教科では、様々な人権課題について理解し、その改善に何が必要か考えを深めています。

社会の授業では、「新しい人権」を学び、時代とともに人権の考え方が変わっていることを深めています。

また、生徒会では、きまりの見直しを進めています。「校則」について、生徒が生活しやすいきまりは何か、意見を交換しながら修正をしています。

